

第15回 教育研究集会

兼 第40回福井県特別支援学校教育研究大会 D分科会



福井大学教育学部 附属特別支援学校

生活教育について



生活教育

学校の中で自立的, 主体的に取り組むことができる
ような生活の場の保障

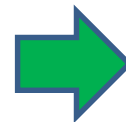
生活目標: 実際の生活で生かす力を培う

生活内容: 実生活で実際に行われることを扱う

生活方法: 実際の生活で行う



今の「自分らしい生活」の実現



将来の「自分らしい生活」の実現



自立と社会参加



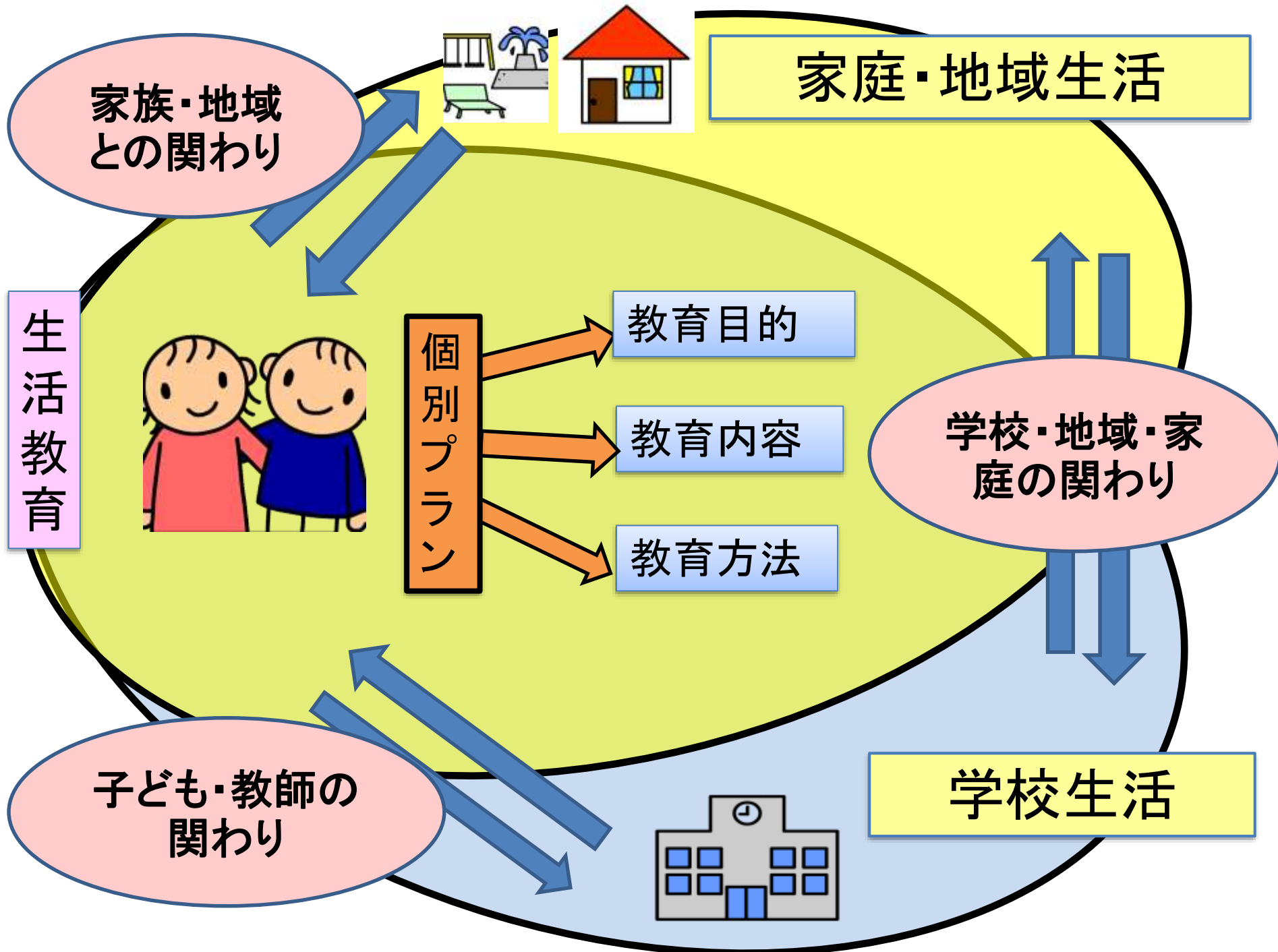


「生活教育」で大事にしていること



- ・子どもの生活すべて
- ・学校内外のつながり
- ・自己肯定感，自己有用感
- ・現在，将来の生活の充実
- ・子どもの主体性や思いを尊重
- ・縦割り集団の学び，子ども同士の学びを重視





家庭・地域生活

家族・地域との関わり

生活教育



個別プラン

教育目的

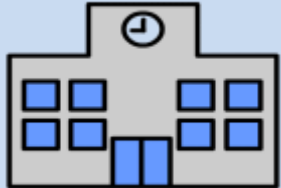
教育内容

教育方法

学校・地域・家庭の関わり

学校生活

子ども・教師の関わり





家庭・地域生活を
含む支援の計画

基礎資料

個別プラン



本人保護者の願い

培いたい力

スペシャルニーズ

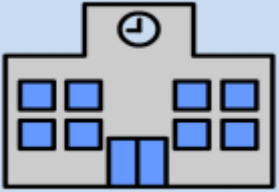
重点課題

期待する姿

支援方法

学校・地域・
家庭との
やりとり

学校生活の活
動形態, 内容,
支援など



本校の活動

活動形態



- のびのびタイム（小学部）
 - ゆうゆうタイム（中学部）
 - 仕事（高等部）
 - ぐらし（小・中・高等部）
 - 運動（中・高等部）
 - 表現（中・高等部）
…音楽的表現・美術的表現
- *レインボータイム（全校縦割り）

小学部 「のびのびタイム」

遊び



テーマ活動



表現



運動



中学部 「ゆうゆうタイム」

環境グループ



工芸グループ



衣食グループ

高等部 「仕事」



焼き物班



紙と刷り班



畑・織り班



くらし

個の教育的ニーズや実態に応じて 個別または集団で取り組む

- ・より個に応じた課題を行えるように
- ・生活で活用できるように
- ・子どもが目的を持ちじっくり取り組めるように
- ・家庭や地域、卒業後の生活につながるように

- 言葉・数の学習
- 基本的な生活に関する内容
- 余暇活動につながる内容
- 係活動、コミュニケーションに関するもの など

小学部のくらし

係活動



個別課題学習



給食配膳



着替え



掃除

中学部のくらし

グループくらし



クラスくらし



個別課題学習

高等部のくらし



余暇活動



係活動





オープンクラス 生活

本校の縦割り集団



高等部

仕事班

3学年縦割りクラス

中学部

ゆうゆうタイムグループ

3学年縦割りクラス

レインボータイム

小学部

のびのびタイム

2学年合同のクラス

運動会



アウトドア班



クラフト班



レインボータイム (全校縦割り活動)



ウッド班



ミュージック・アート班



スポーツ・ゲーム班

研究概要

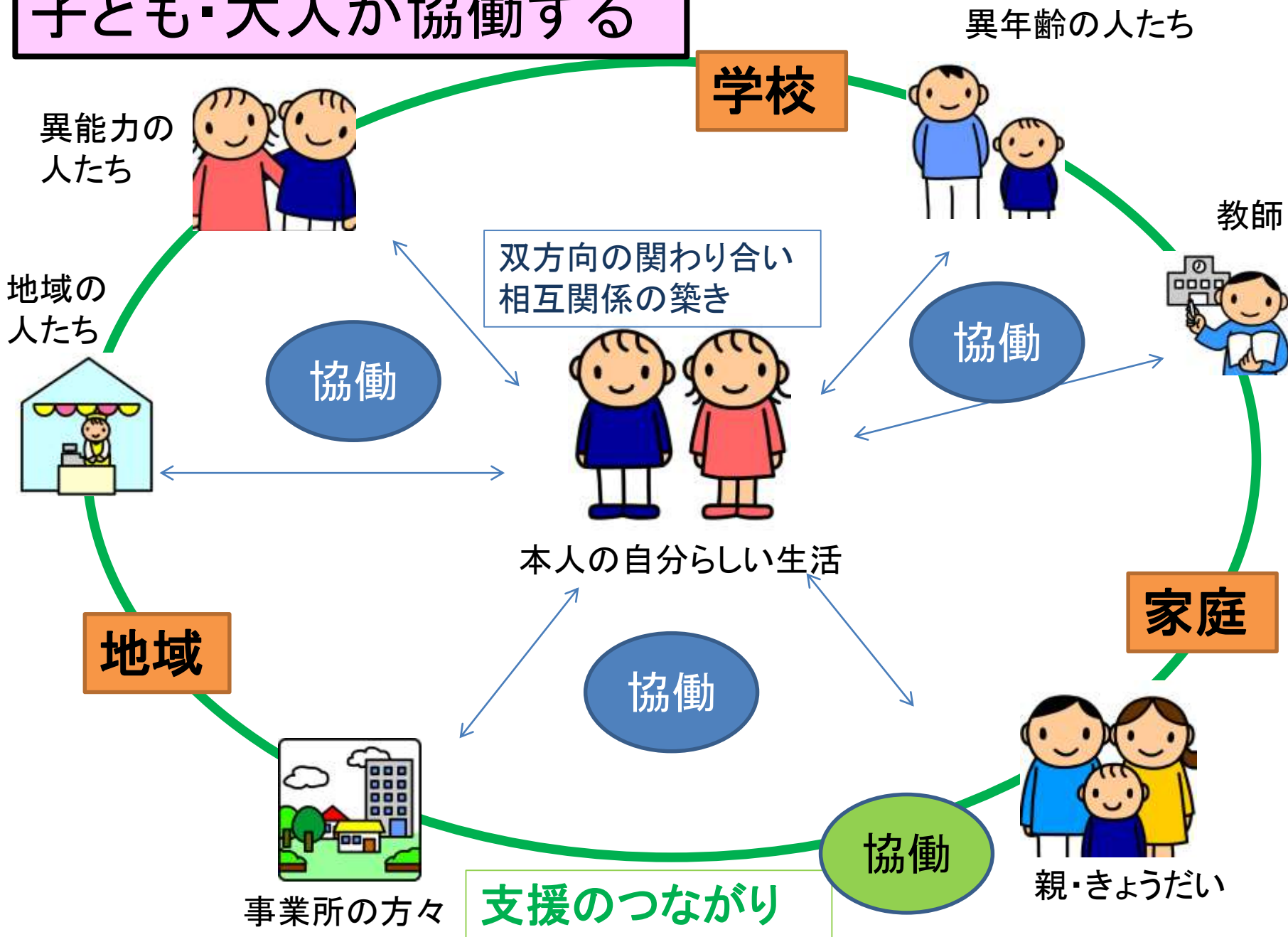
研究テーマ

子ども・大人が協働する学校生活づくり
～学びのつながりに焦点を当てて～

(3年計画最終年度)



子ども・大人が協働する



目指す子どもの姿(1年目研究より)

- ・子どもが主体的に活動している
- ・子どもが人とのつながりの中で活動している
- ・子どもがやりがいをもって活動している

主体的な学び

対話的な学び



地域や家庭での自分らしい豊かな生活

授業作り

「主体的」「つながり」の観点

=「主体的・対話的で深い学び」の視点

12か年のつながり (2年目研究より)

小学部: <主体性の芽>を育む

中学部: <主体的に取り組もうとする意欲や態度>
を育てる

高等部: <社会や生活に自信を持って、主体的に取り組んでいける力>を培う

2年次の研究から明らかになった課題

- ・ **小中高の12か年の学びのつながりという視点**での各学部の教育課程
- ・ 各活動形態で行われる内容・ねらいと**新学習指導要領に挙げられている内容・ねらいとのバランス**

新学習指導要領より

教師に求められていることは…

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善や教材研究、学習評価の改善・充実などに必要な力を付ける
- ・ 子どもたちの学びの連続性を重視した“つながり”に留意して対応していく

3年次のテーマ

主体的・対話的で深い学び 学びの連続性

サブテーマ

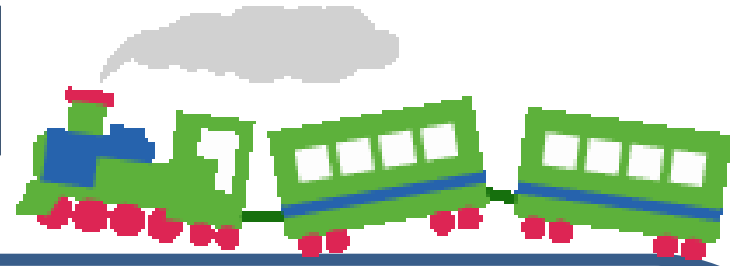
学びのつながりに焦点を当てて

主体的な学びの姿

協働的な学びの姿

- ・各授業のよりよい組み立て方を明らかにしていく
教師の授業づくりのプロセス
- ・学部間の学びのつながりを明らかにしていく
子どもの学びのプロセス

学びのつながり



- ・ 子どもの学びの繰り上がり
- ・ 活動の中における子どものストーリー
- ・ 活動と活動(単元間)のつながり
- ・ 小のクラス間, 小から中, 中から高の
つながり(経年的なつながり)
- ・ 各活動形態(教科・領域)のつながり
- ・ 社会生活(事業所・将来の生活)への
つながり

具体的な研究内容

〈各学部〉



授業参観・研究授業・授業研究会

「主体的・協働的に取り組む姿」「学びの繰り上がり」

授業の構成・組立・内容（課題設定）、集団編制、教材の工夫、関わり方、環境整備、環境設定の工夫など

授業づくりday

日々の授業（教材研究等）、児童生徒についての話し合い

<学校全体>

全体研究会・夏季研究会

「主体的・協働的な学びの姿」「学びのつながり」

- ・各学部の取組の共通理解と協議【全体】
- ・個別の事例を通して、12か年のつながりを見通した育ちや授業の在り方，教育課程などについて協議【学部を解いての6グループ】



事前研究会・秋季研究会

- ・各学部の取組について，助言者・協力者を交えて協議【学部】

小学部の取組

主体性を育む「のびのびタイム」の授業づくり

生活年齢を踏まえた、子どもの学びがつながる活動を大切に

- ・児童の学びのつながりを大切にした活動となるような内容・教材や教師の支援などについて小1組の授業研究を通して検討する。
- ・主体性につながる3つの資質・能力(人と関わろうとする姿・思いを表現しようとする姿・活動を追究したり探究したりする姿)を児童の変容を追いながら検討する。また、主体性を育むための活動に必要な要素について検討する。

中学部の取組

生徒が主体的・協働的に取り組む「くらし」の授業づくり

体験的・探究的な学習を通して、
つながりの中で学び合う活動を大切に

- ・生徒の主体的・協働的な姿を目指すため、3組の授業研究を通して、教師の支援の在り方や教材・活動設定について検討する。
- ・クラスくらしシートを活用しての授業づくり
主体的・協働的の視点から、生徒のねらいを具体的にイメージして行う支援の検討や評価を行う。また、個別学習でのニーズを意識しての授業づくりを行う。

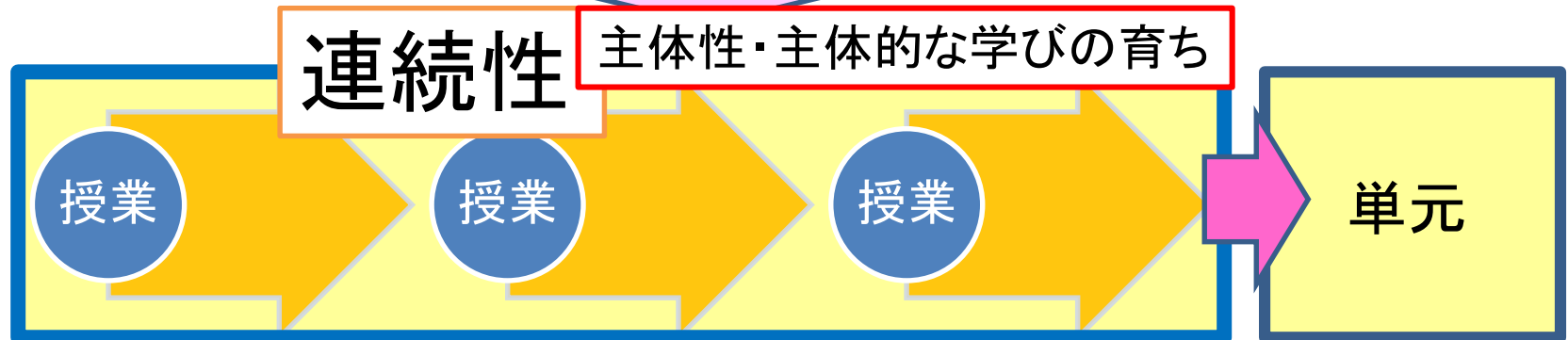
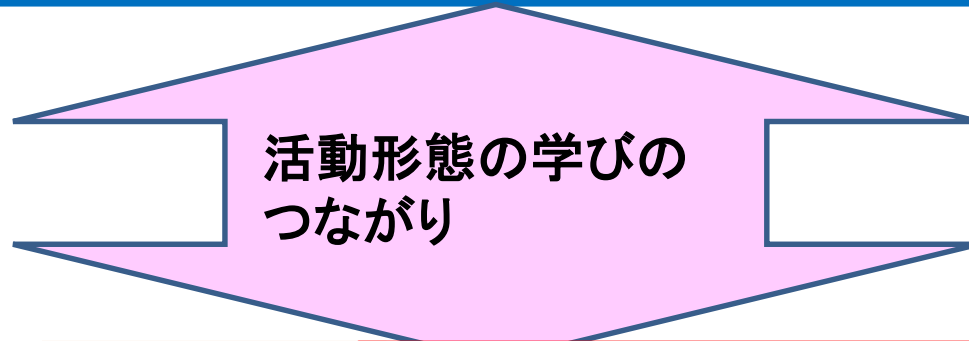
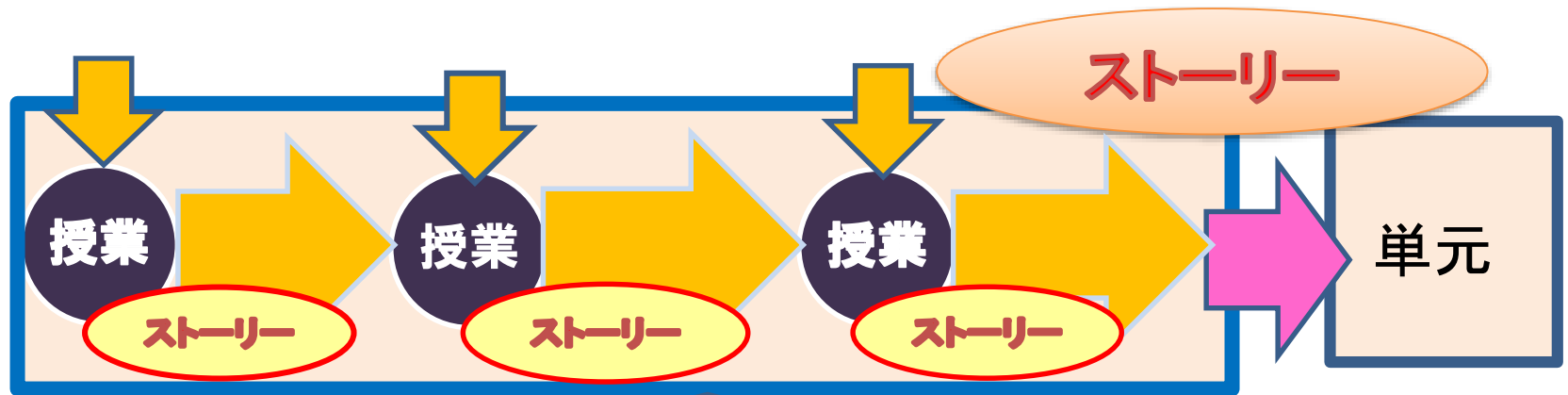
高等部の取組

生徒が主体的・協働的に取り組む 「オープンクラス『生活』の授業づくり

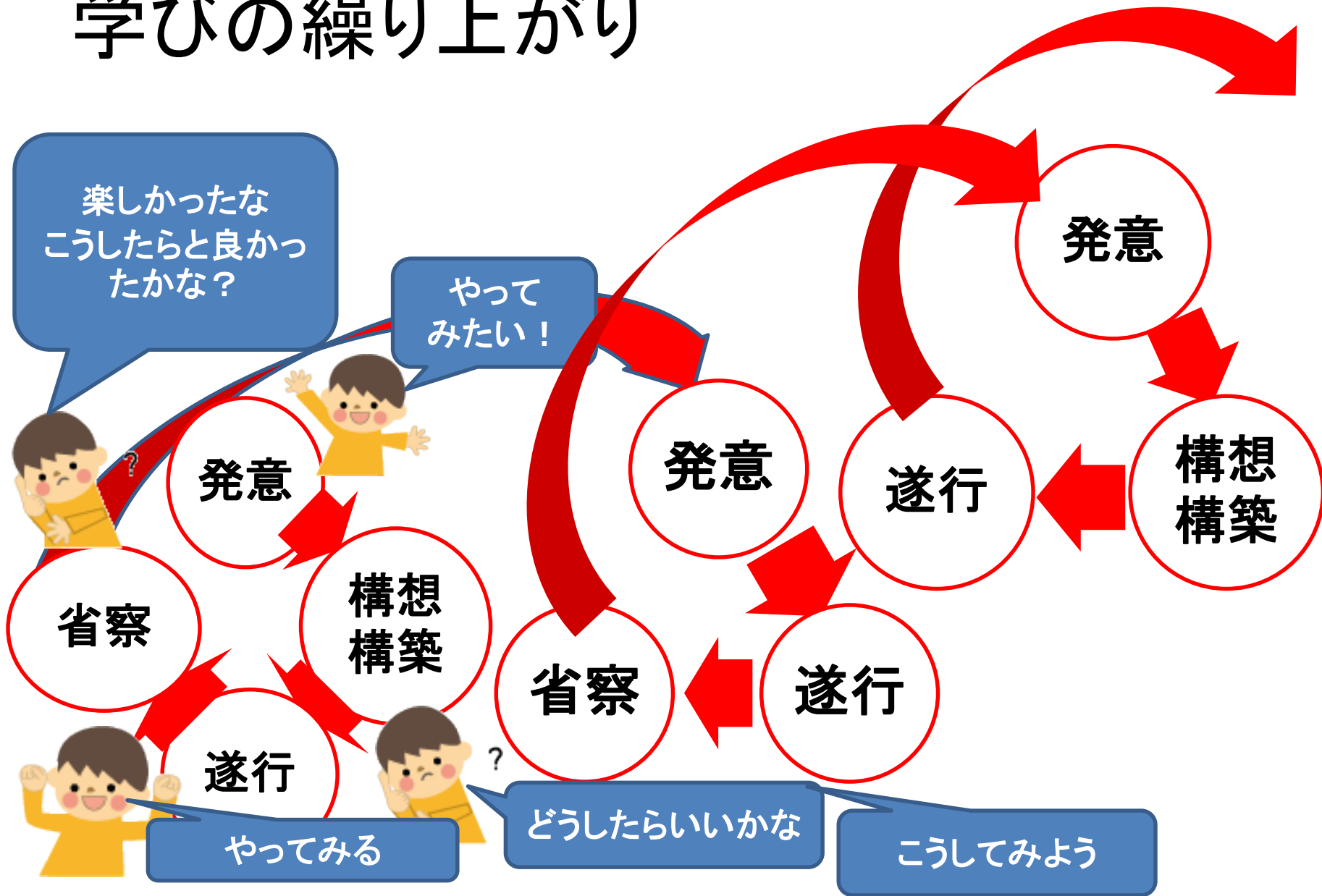
将来を見据え、個々の学びと集団での学びを
意識した活動を大切に

- ・生徒が主体的に、他者とのつながりを大切にした活動となるような活動設定や教師の支援、環境設定について生活1班の授業を通して検討する。
- ・「オープンクラス『生活』」の中だけでなく他の活動や学校以外の場面で見せるMさんの姿の事例を通して高等部の活動内容や在り方、教師の支援について検討する。

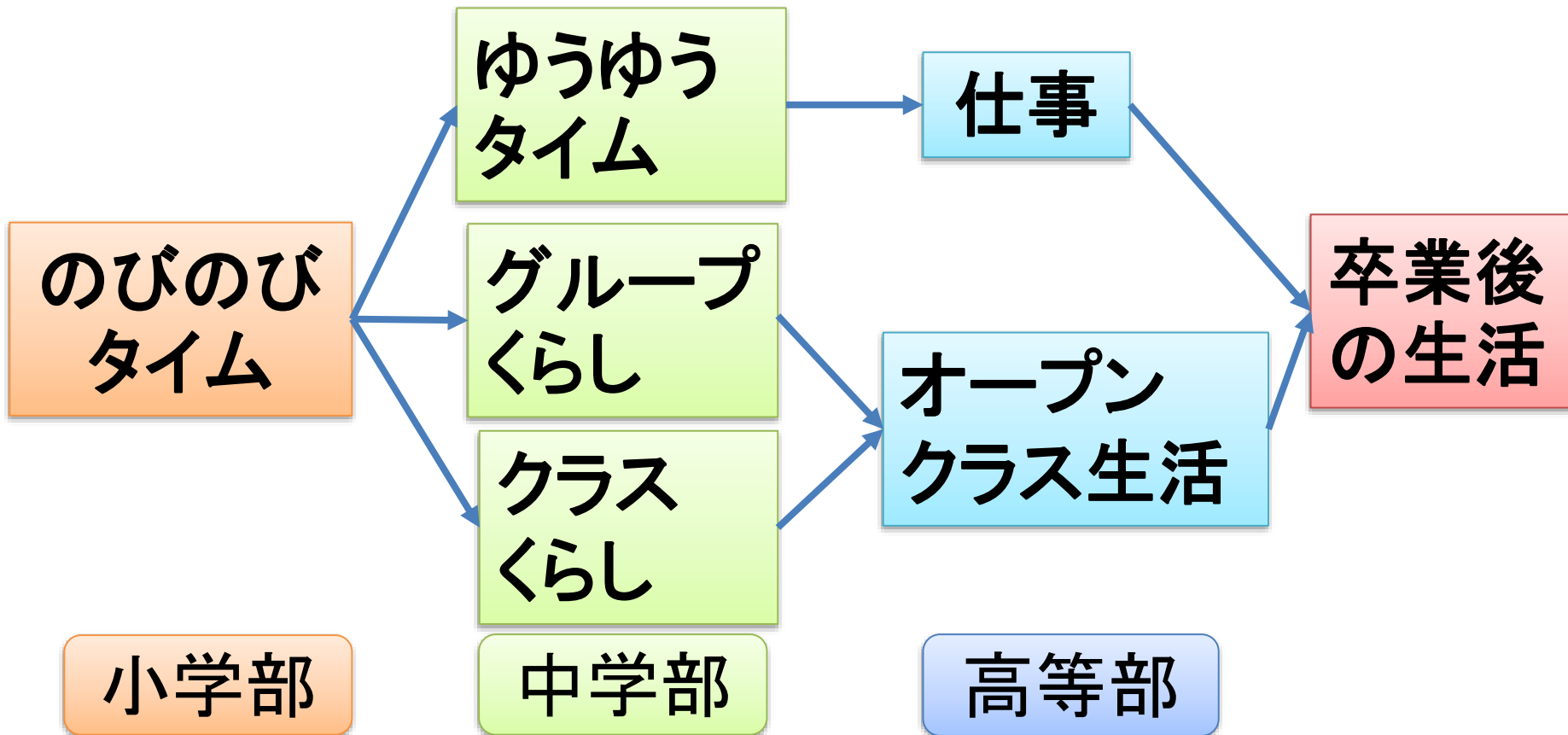
授業の中での子どもの学びのつながり



学びの繰り上がり



学びのつながり①



私たち教師がめざす子どもの姿

主体的に活動している姿

人とのつながりの中で活動している姿

やりがいをもって活動している姿

学びのつながり②

社会性

経験の積み重ね

行動・言動のパターンを学ぶ

→活動の中で活用・実践する

→自分なりに行動・言動を考え応用する

自己理解・他者理解・自己調整力

思いの言語化

自分を知る・様々な人の存在を知る

→伝え方・話し合う力、自己調整力を付ける

→社会の様々な人とやり取りする力が付く

学びのつながり③

人や集団の広がり・楽しみややりがいの広がり

小学部

- ・自分が楽しむ
- ・クラスの教師や友達と楽しむ

中学部

- ・クラス以外の教師や友達と楽しむ
- ・身近な人に喜んでもらうという意欲を持って取り組むことを楽しむ

高等部

- ・学部仲間と楽しむ
- ・様々な他者を意識して目的を持って取り組むことを楽しむ

協働・やりがい



ご清聴ありがとうございました